第２回　商工センター地区まちづくりビジョン検討会　議事要旨

１　検討会名称

第２回　商工センター地区まちづくりビジョン検討会

２　開催日時

令和５年１２月２０日（水）　午前９時３０分～１１時１０分

３　開催場所

広島サンプラザ２階　銀河の間
（広島市西区商工センター三丁目１－１）

４　出席者

⑴　委員（委員９名中９名出席）

⑵　事務局

都市整備局　都市機能調整部商工センター地区活性化担当　担当部長、担当課長、ほか関係職員

５　議題

⑴　広島市内の主要なMICE関連施設の概要について

⑵　MICE施設整備の必要性について

⑶　提案内容ごとの課題整理について

６　公開・非公開の別

公開

７　傍聴人の人数

一般傍聴者３名

８　検討会資料名

次第
商工センター地区まちづくりビジョン検討会委員名簿
資料１　広島市内の主要なMICE関連施設の概要
資料２　MICE施設整備の必要性について
資料３　「商工センター地区街づくり提案」における提案内容ごとの課題整理

９　各出席者の発言の要旨

事務局

それでは、第２回商工センター地区まちづくりビジョン検討会を開会する。

戸田（常）座長

議題⑴の「広島市内の主要な MICE 関連施設の概要について」と議題⑵の「MICE 施設整備の必要性について」は密接に関連する内容であるため、一括して事務局から説明をお願いする。

事務局

（資料１及び資料２に沿って説明）

戸田（常）座長

資料１及び資料２について御質問、御意見をいただきたい。

前回の検討会において西本委員からの御提案で整理された内容もあるがいかがか。

西本委員

現状を見ると、会議室としては様々な会議機能を持った施設が市内に点在しているのに対し、展示施設が市全体で足りていないということが浮き彫りになっていると思う。

ここで改めて MICE の“E”、展示会の意義について説明しておく。MICE の Meeting、Incentive Travel、Convention、Exhibition/Event という 4 つは全く違うビジネスモデルを持っているが、展示会・見本市というものは売手と買手をつなぐビジネスプラットフォームであり、毎年、同時期に同じ会場で開催されるため、MICE の他の“M”、“I”、“C”に比べて持続的な効果を開催都市にもたらし、同時に産業育成や地元企業にビジネスチャンスをもたらすという特性がある。

このため、新たに MICE 施設を検討するのであれば、展示機能に主体を置いた MICE 施設を検討することが良いのではないかと今回の資料を見て感じた。

戸田（常）座長

資料２に記載がある「展示室を併設した会議場がない」、「展示会主催者が希望する面積を有する展示場がない」という２点がポイントかと思うが、展示会主催者の希望はどのようにして把握したのか。

事務局

全国的な展示会を主催している事業者や指定管理者へのヒアリング等に基づいて規模を確認している。

戸田（常）座長

ほかに御質問等はないか。

西本委員

展示会場は、展示会・見本市にしか使わないということではなく、なるべく多目的に、例えば地域住民の夏祭りや運動会の開催、有事の際の避難所のほか、展示会場を間仕切りしてコンベンションホールのような使い方など、フレキシブルに使える施設であることが、地域住民やコンベンション利用者にとっても満足いただけるポイントになると思う。

戸田（常）座長

キーワードとしてフレキシブルな使われ方があったが、地域住民の活用という点で、南浦委員、何か御意見はあるか。

南浦委員

本地区では公園を利用して西区民まつりを開催しているが、雨天時には展示会場をまつりの空間として活用することもできるのではないかと思う。

戸田（常）座長

今の発言に関して、湯蓋委員、御意見等はあるか。

湯蓋委員

視点が違う話になるが、本地区には広島サンプラザや中小企業会館、中央市場、水産振興センターといった多くの既存施設があるなかで、MICE 機能を持った新たな施設ができる場合、既存施設との整合性をどのように考えていくかが重要ではないかと思う。この検討会が主体となって考えていくのか、あるいは、市から方向性のような指針を出してもらった上で検討してくのかで作業工程も変わってくると思う。

事務局

この検討会では、全ての既存施設のあり方を検討するということではなく、提案にあった MICE 関連施設等の方向性などについて検討していくことになる。また、関係する既存施設をどのように位置付けていくかという作業を市として行うことになるものと考えている。

戸田（常）座長

今の御発言は非常に大事なところだが、後の議題としている課題整理の中で留意しておくべきことだと思う。

事務局

後ほど説明する課題整理の資料において、その点を記載しているが、MICE 機能に重複する既存施設の取扱いについては、導入される MICE 機能の内容を踏まえて検討することになる。

戸田（常）座長

ほかに御質問等はないか。

秋田委員

資料２の補足説明をさせていただきたい。展示場の面積について１室5,000㎡以上という数字については、今後の需要予測などを丁寧に検討した上で精査していくことになると考えており、最終的にこれでよいという数字ではないということを申し添えたい。

今後の進め方として、「展示室を併設した会議場がない」、「展示会主催者が希望する面積を有する展示場がない」という２つの需要を満たせていないことから、商工センター地区に MICE 施設整備をすることでこうした機能を満たすことができるかどうかを、経済面・技術面から検討することとし、その上で地区全体の持続的な発展と活性化に資するよう長期的な視点にも立って、規模感についてしっかり検討していく必要があると考えている。

西本委員

秋田委員の御発言はそのとおりで、海外での展示場整備計画では、まず小さく始めて、その需要を見ながら収益を再投資して拡張していくという手法が昨今主流となっている。最初から何千㎡と決めずに、後々の増設も踏まえた計画にするのが良いのではないかと思う。

戸田（常）座長

今の御発言も踏まえて検討を進めて欲しい。

ほかに御意見等がなければ、次の案件に入らせていただく。次の議題⑶「提案内容ごとの課題整理について」は内容が多岐に渡るので、事務局から一括して説明をいただいた後、１ページずつ御意見をいただくという流れで進めていきたいと思う。

それでは、事務局から説明をお願いする。

事務局

（資料３に沿って説明）

戸田（常）座長

資料３について、提案内容を市がしっかりと受け止められているかどうか伊藤委員に伺いたい。

伊藤委員

大変よく整理していただいており、私共の提案の肝となるべきことは全て触れられている。これに基づいて課題解決に向けて進んでいただければありがたい。

戸田（常）座長

しっかり受け止めているということを確認させていただいた。

それでは、まず１ページ目の内容について、御質問、御意見をいただきたい。

奥野委員

広島商工会議所ではグローバル MICE 検討特別委員会を設置しており、商工センター地区での MICE 施設検討についても様々な御意見をいただいている。例えば、「MICE 関連施設の整備では、展示施設も非常に重要だが、それに付随する宿泊施設なども重要になってくる。新しく MICE 施設を整備した場合、サンプラザの宿泊施設では対応しきれないとなると、市内中心部から来ていただくということも考えていく必要があるのではないか」という御意見もあったので紹介させていただく。

西本委員

おっしゃるとおりで、近年はサステナビリティの観点から、MICE 施設から徒歩 30 分以内の場所に宿泊施設がどれだけあるかという点がコンベンションの開催地を決定する一つの目安ともなっている。

ただし、通常は MICE 施設が整備された後に、それが誘発剤となってその周辺に投資が集まり、ホテルも増えてくるというプロセスを踏んでいくことになるため、まずは魅力ある MICE 施設を整備して様々なイベントを誘致することが必要になる。

また、ハコを作らなければイベントは来ないが、ハコさえ作ればイベントが来る訳でもなく、イベントの誘致体制の構築や施設を回して支えていくソフト面についても同時に検討していく必要があると思う。

事務局

ハコだけ整備して終わりではなく、整備後からが重要であると認識しており、特に誘致やソフト面について、広島観光コンベンションビューローなどとも議論しながら検討していきたい。

戸田（常）座長

ほかに御質問等はないか。

南浦委員

西区の区民まつりやスポーツ大会でサンプラザやその周辺を利用しているが、仮に MICE 施設整備に伴い既存施設を取り壊すのであれば、地域の利用者が困らないように考えていただきたいということを地域から、また、西区からもお願いする。

事務局

既存施設には一定の利用者がいるということもあり、取り壊す前には新たな施設を整備するなどし、現在の利用者が移った後に、既存施設を取り壊すという手順であれば、利用者への影響が少ないのではないかという思いで課題解決に向けた方向性を示している。

なお、「新施設」というものが、仮設であるのか、既存機能の移転なのかというところまでは言及していないが、そういったことも今後は考えていく必要があると認識している。

戸田（常）座長

ほかに御質問等はないか。

湯蓋委員

MICE 施設整備に付随して、先ほど宿泊に関する御意見があったが、現在、井口明神やアルパークの周辺には飲食店が少ないため、多くの人を受け入れるためには飲食機能の整備も必要ではないかと考える。これを、MICE 施設の中に求めていくのか、民間に求めていくのかによって提案の仕方も違ってくると思うので、飲食機能についても検討いただきたい。

事務局

MICE の開催に当たっては、先ほどの宿泊機能と同様に飲食機能も重要であると認識しており、また、MICE 施設の整備により民間の進出も期待できるものと考えている。現時点で具体的な答えを持ち合わせてはいないが、御指摘の点にも対応できるよう考えていきたい。

戸田（常）座長

飲食機能も同時に検討いただくということを確認させていただいた。

それでは次に、２ページ目の内容について、御意見、御質問をいただきたい。

まず、私から確認であるが、先ほどの説明の中で中央市場についての検討と規制緩和に関する調査については年度内に目処がつくという説明だった。次回の検討会ではこれらについても報告いただけるのかどうかスケジュールを確認したい。

事務局

一定の整理がなされるのが本年度末までと聞いており、次回の検討会で報告できるよう所管部署とも調整したい。

戸田（常）座長

それを目標に作業を進めていただくようお願いする。

それでは、御質問、御意見をお願いする。

湯蓋委員

前回いただいた資料を改めて読み直してみると、本地区の企業数や社員数等は大きく伸びているが、JR と広電の乗降客数は減少してきている。その原因がどこにあるか、これを伸ばしていく可能性があるのか、あるいは今後もっと減少するのかでは方向性も大きく変わってくる。

それから、中央市場の一番海側にかき組合があるが、ここはずっと触れられてきていない。その前面道路は路上駐車が多く、ゴミの不法投棄も多いという報道があったが、このような場所も今回の活性化の中で検討していく必要があると思う。

さらに、西部周遊緑地の歩道では落葉が多く、ほとんど人が通っていないので緑地の活用についても抜本的に検討してもらいたい。

最後に、私個人の意見であるが、中央市場から井口漁港までの一番海側の土手に緑地があるがほとんど活用されていない。こういったところを回遊できるような魅力ある都市づくりみたいなものを検

討いただけないかと思っている。

事務局

まず、第１回検討会の資料に記載している JR 及び広電の駅の乗降客数について、近年（平成 30 年度～令和３年度）減少しているのは、おそらくコロナの影響によるものであり、一時的なものと受け止めている。

また、駅の利用者を増やす方策としては、今回提案の柱でもある MICE 施設の整備に伴う需要の増加も踏まえながら、人の動きがどのように変わっていくのかというところも含めて検討していくことになる。

次に、現在のかき組合の場所について、水産振興センターの移転先として地域から御提案いただいているところでもあり、中央市場の再整備等も踏まえながら、地区の活性化を考えていかなければならないとは認識しているが、相手もあることなので現時点で具体的な回答は難しい。

最後に、西部周遊緑地の抜本的な改善と海側の緑地などの回遊性の向上については、この地区全体の周遊・回遊方策を踏まえながら考えていきたい。

戸田（祐）委員

先ほど JR と広電の駅の乗降客数が減っている原因について御質問があったが、これは完全にコロナの影響である。令和４年度には少し戻ってきており、今は JR が９割、アストラムラインは９割５分程戻ってきており、新しい情報を踏まえて検討した方が良いのではないか。

ただし、公共交通の利用は全体的に下がってきている。今後、利用者を増やすという意味でも、この商工センターを魅力のある街にすれば、新しい方に住んでいただくことも十分考えられるので、今回の検討は非常に重要になってくると思う。

南浦委員

西区役所では地域の方との懇談や意見交換の場を設けており、西部周遊緑地については、樹木が大きく成長していることにより暗いことや石畳が壊れているため早く改善して欲しいという要望を伺っている。木の剪定や石畳の修繕は維持管理として対応していきたいと考えているが、同時に西部周遊緑地自体が整備後 40 年以上経っているため、この機により良い空間を検討していきたい。

戸田（常）座長

ほかに御質問等はないか。

奥野委員

これもグローバル MICE 検討特別委員会で出た話であるが、「名古屋では、街中の高層ビルの横に、模擬ではあるが江戸時代の街中を再現したような商店街を作っている事例があり、図の④（「規制緩和と土地の高度利用による街のにぎわいづくり」）の場所に、広島の歴史を感じるようなものを設置しても良いのではないか」という意見があったので紹介させていただく。

戸田（常）座長

ほかに御質問等はないか。

湯蓋委員

先ほどの意見に追加であるが、井口明神という地区は新しい街ではあるが、高齢化が進んでおり、買い物時の移動手段の話が必ず出る。地区内の路線バスが廃止になったという話を前回したが、できればもう一度交通体系を考えて欲しいという声が地域にはある。

アルパークの１階にあるバスターミナルの活用についてもできればこの度の活性化の中に加えて検討いただきたい。

戸田（常）座長

湯蓋委員から交通関係の御意見があったので、３ページ目に進んでよろしいか。

それでは、３ページ目の内容について、御意見、御質問をいただきたい。

戸田（祐）委員

私の方から何点か伺いたい。まず、⑤「新井口駅等の交通機能の強化」の新井口駅であるが、駅のコンコースも含めてここを結節機能として強化しないといけないと思っている。この施設自体は JR 西日本あるいは広島電鉄の土地・建物になり、事業者としっかり調整しないと上手くいかないと思うので、そこの連携をしっかり取っていただきたい。

また、乗降場の整備は、第四公園に隣接する道路空間ということで、こちらの公園は地元の方も多く利用されるため、地元の方の利用状況も含めてしっかり御意見を聞く必要がある。

次に、⑥「ペデストリアンデッキの拡幅・延長」については、沿道の民間施設の建替えの動向もしっかり捉えて、例えば広島駅北口はホテルの一部を通路として利用しているように、民間施設の協力も得られるよう考えていただきたい。

⑦「回遊性の向上」のモビリティの活用については、閉塞した空間であるペデストリアンデッキに限定せず、地上との連携も考えていく必要がある。

循環型の交通は、先ほど御意見もあったが、せっかくあるバスターミナルをしっかり活用した方が良いと思う。市内中心部のアクセスということで、例えば市内から来る路線バスがあるが、バスターミナルを新しい循環バスとの結節点とするということも考えていく必要がある。

また、新しい循環バスとなると、運転手不足などの課題を抱える交通事業者に運行していただくことがなかなか難しい中、自動運転等の新しい技術もどんどん出てきているので、整備スケジュールとその技術が合っていくかということも視野に入れていく必要がある。

事務局

JR や広電との協議においては双方にとってメリットがなければ、なかなか前に進まないものだと認識しており、このビジョンがどういったものになるかという方向性を情報交換しながら具体的な検討を進めていきたいと考えている。

ペデストリアンデッキの民間施設への接続については、現状アルパークとも接続しているが、民間

企業にとってもメリットがあり、また、歩行者にとっても民間施設等と接続することで歩きたくなる環境づくりに寄与するよう検討していく必要があると考えている。

また、バスターミナルについては、利用が落ちているという実態は認識しているが、所有がアルパークになるので、意見交換をする場があればバスターミナルの活用についての話もしていきたい。

戸田（常）座長

MaaS 等についてもう少し解説していただきたい。具体的にどのようなことを考えておられるのか。

事務局

MaaS（Mobility as a Service）は、利用者の使い勝手の視点に立って、利用者にとって目的地までの移動手段がまるで一つのサービスのように享受できる状態を目指すという取組を示す、元々フィンランドで生まれた交通サービスの新しい概念である。

最近では、単なる交通サービスだけでなくて交通産業の IoT 化や交通での DX 推進などによる地域課題解決の取組も含めて広義で広く捉えられている状況である。

こうした広義の MaaS を含めて、本市と交通事業者や観光事業者等で構成する協議会において、路線バス、電車、フェリーの乗り放題や、観光施設の周遊パックなどを販売したほか、昨年 11 月には、本市と交通事業者７社が連携して、デジタルフリー乗車券などの取組を実施している。

今後も、交通事業者と連携してデジタルチケットの普及による複数の乗り物を定額で乗り継げる均一運賃や需要に応じて料金を変動させるダイナミックプライシングなどの新しいサービスを検討していきたいと考えている。

戸田（常）座長

ほかに御質問等はないか。

戸田（祐）委員

今の MaaS の話で、宿泊施設がこの地区だけでは足りないので市内との連携が必要ではないかという意見もあったため、例えば、MICE 施設を利用する宿泊客であれば、ホテル代と会場までの交通費がセットになっているようなサービスも考えられると思う。

戸田（常）座長

では３ページ目についてほかになければ、全体を通じて御意見、御質問、御感想でもお伺いしたい。

西野委員

各委員から多くの貴重な御意見や御提案をいただいた。検討を総括する立場としてこれをしっかり受け止めて、良いビジョンができるように頑張っていきたい。

西本委員

最後に２点。１点目は展示施設を作るのであれば、そこに広島市にとって有効なイベントを数多く

呼び込むことが非常に重要になってくるので、それに向けて需要調査というのは徹底していくべきと考える。

展示会であれば、展示会を主催する展示会社や産業団体、また、コンベンションであれば、日本では医学会が全体の７割程度を占めると言われているため、地元大学の医学部や日本医学会の分科会事務局などにきちんとした需要調査を行っていくべきと考える。

また、名古屋市では、市役所の中に展示会に関する専門知識を持つ職員を配置して、展示会誘致と産業の育成を同時に行っている。こういった先進事例を広島でも検討されてはどうか。

２点目は交通に関して、MICE 施設を訪れる時にどうやってアプローチするかも MICE に参加した印象を大きく左右するものとなる。今回、MICE 施設へのアクセスとしては JR や広電の駅を重点的に議論しているが、せっかく港も整備するというのであれば、港も MICE 施設の入り口になるという考え方があってもいいのではないか。MICE 施設の特性の一つとして、広島の売りになるということにも繋がるのではないかと思うので、ぜひ検討いただきたい。

戸田（常）座長

ほかになければ、私の感想であるが、課題整理が非常に的確にまとめられている。これも前回の広島商工センター地域経済サミットからの御提案があったからこそであり、これを市がしっかりと受け止めて課題整理をされ、今後の検討に向けた方向性を提示されている良い資料だと思う。

「課題解決に向けた方向性」に記載された内容だけでなく、今日の御意見も踏まえて、さらに前に進めるように、実現に向けて全員で取り組みたいと思う。

それではこのあたりで閉会させていただく。事務局には本日の議論を踏まえた上で検討いただき、次回の検討会に報告をお願いする。なお、多岐に渡る提案であるため、部分的にでも報告をしていただきたい。

事務局

本日は多くの貴重な御意見をいただき感謝する。次回の検討会では本日いただいた御意見等を踏まえ、課題解決に向けた方向性に沿って検討を進めていき、ある程度まとまった段階のものを報告させていただく。

また、日程については、事務局の方で調整させていただきたい。

戸田（常）座長

それでは、第２回商工センター地区まちづくりビジョン検討会を閉会する。

ありがとうございました。